

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025

「サイバーエージェント縦型アワード」 ファイナリストを発表

最も高い効果・表現力を發揮する縦型コンテンツは!??
こねこフィルムや「まいはに」、安田現象など5プロジェクトがノミネート

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショートフィルムフェスティバル & アジア(略称:SSFF & ASIA)2025は、株式会社サイバーエージェント(本社:東京都渋谷区、代表取締役:藤田晋、東証プライム市場:証券コード511、以下サイバーエージェント)と共に、新たに縦型動画に特化した【サイバーエージェント 縦型アワード(英語: CyberAgent Vertical Award)】を創設し、日常の映像体験の主流となりつつある縦型コンテンツに特化し、ショートドラマやSNS動画などにおいて高い効果・表現力を發揮した優れた作品・団体・プロジェクトファイナリスト5団体をファイナリストとして発表いたしました。

ファイナリストとしてノミネートされたのは、きっと青春の1ページ、本日も絶体絶命。、毎日はにかむ僕たちは。、こねこフィルム、安田現象の5つのプロジェクト。

縦型動画にて「高い効果・表現力」を發揮し、創造性やメッセージ性、映像表現の革新性を有しているかを審査基準に選定された5つのプロジェクトの中から優秀賞が決定され、6月1日の映画祭アワードセレモニーでプレゼンターの映画監督 岩井俊二さんと株式会社サイバーエージェント エンターテインメントプロデュース局 局長・プロデューサー 安藤 達也 さんから賞金:50万円と、副賞として、極AIお台場スタジオ体験ツアー＆スタジオを使用した作品制作権が授与されます。

また、セレモニーでは安藤達也さんより今後のサイバーエージェントの縦型動画プロジェクトの発表を行います。



【サイバーエージェント縦型アワード】について

- 目的: サイバーエージェントとSSFF & ASIAで“縦型コンテンツ”的集積地となる新たなアワードを設立し、縦型動画クリエイティブの未来を創出する場とします。
- 表彰対象: 縦型動画にて「高い効果・表現力」を発揮したクリエイティブ作品(ショートドラマ、ブランデッドムービー等)。特に、創造性やメッセージ性、映像表現の革新性を有する国内作品・団体・プロジェクトを対象とします。
- 受賞内容 賞金:50万円、副賞:極AIお台場スタジオ体験ツアー＆スタジオを使用した作品制作権

「[極AIお台場スタジオ](#)」は、サイバーエージェントが所有するAIや3DCGを活用し広告効果の最大化に特化したクリエイティブ制作スタジオ。特徴の異なる3台のLEDウォールや高品質なボリュメトリックキャプチャが可能な4Dスキャン、編集室、収録室などの最先端設備を完備。



〈サイバーエージェント縦型アワードファイナリスト〉



きっと青春の1ページ

部活と受験に懸ける高校生の青春を描く、甘くて苦い、キットカットのショートドラマシリーズ。すべての青春に捧ぐキットカットの物語。



本日も絶体絶命。

累計再生数は10億回超え！「コント師×俳優×TikTokクリエイター」の最強コラボで織り成す新感覚縦型ショートコント「本日も絶体絶命。」ハナコ、吉住、かが屋といった実力派コント師に加え、窪塚愛流、堀未央奈、田中美久、ウンパルンバなど豪華なメンバーが出演。



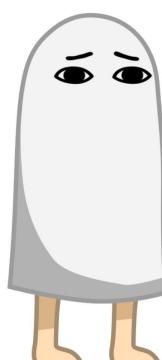
毎日はにかむ僕たちは。

日テレが手がける「はにかんでしまうような一瞬」をコンセプトとしたショートドラマ。様々なキャラクターを個性豊かな俳優が演じ分けSNS総再生回数20億回越えTikTok平均再生400万回とZ世代の4人に1人が視聴しているアカウント。



こねこフィルム

こねこフィルムは、映画やドラマの現場で経験を積んだ精鋭クリエイターたちが結集し、新たな価値を生み出すプロフェッショナル集団です。ショートドラマの枠を超えて、様々なクリエイターや企業と共に新しいクリエイティブの可能性を切り拓くことを目指し、ユーモアと皮肉が交錯する中毒性のある笑いと、まるで現実と錯覚させるようなアリティ溢れる作風で、エッジの効いたこねこフィルム独自の世界観を創り上げています。



安田現象

株式会社ゼノトゥーン所属。SNS総フォロワー630万人超のアニメ作家。初監督作品『メイクアガール』や「ずっと真夜中でいいのに。」の楽曲『正しくなれない』など人気MV作品を制作。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025 概要】

■映画祭代表:別所哲也

■開催期間:

4月24日(木)~6月30日(月)オンライン会場

※期間により配信プログラムが異なります。

5月28日(水)オープニングセレモニー

5月29日(木)~6月10日(火)東京会場

6月11日(水)アワードセレモニー

■上映会場:TAKANAWA GATEWAY CITY、表参道ヒルズスペースオーラ、

赤坂インターシティコンファレンス、WITH HARAJUKUほか

※会場により、期間、プログラムが異なります。

■チケット:上映会場、オンライン会場ともに有料、一部イベントは無料

販売開始は4月24日(木)14:00~

※オープニングイベントは同日18:00~

■一般からのお問い合わせ先 info@shortshorts.org

■オフィシャルサイト: <https://www.shortshorts.org/2025>

※2025年のラインナップは4月24日(木)に公開

■主催:ショートショート実行委員会/ショートショートアジア実行委員会



【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア



米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立2001年には名称を「ショートショートフィルムフェスティバル(SSFF)」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同時に「ショートショートフィルムフェスティバルアジア(SSFF ASIA 共催: 東京都)」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカスワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバルin ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、ライブアクション部門(インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパンの各カテゴリー)およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補となる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】<https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア PR事務局(株式会社サニーサイドアップ内)

阿部、武田

TEL:03-6894-3200 / FAX:03-5413-3050 / E-mail: SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当:田中 TEL:03-5474-8201 / FAX:03-5474-8202 / E-mail: press@shortshorts.org

画像は下記よりダウンロードいただけます

<https://drive.google.com/drive/folders/1T1Rrdhn0jdJtghlCYEqB9ORc-QbfWRb?usp=sharing>